 		- 再門学	校開講年	度 令和04年度	(2022年度)	授業	科目	 沿舶整備論	
科目基		דר ודי י		ען די טווינון אַן	(2022干/又)	I JX *	<u>атты р</u> :	3月13月1年 1月11111	
科目番号		0078	3	科目区分		直	専門 / 必修		
授業形態							60		
開設学科	-	商船				4			
開設期		前期	3 11-1	対象学年 週時間数	2				
	双科書/教材 基本 運用術【二								
担当教員			数馬						
到達目		[11.00.1							
1,船体各 2,船の主 3,船体防 4,入渠作	部名称・寸 要設備と属 議施工方法	及び、塗 舶検査に	について説明できる 方法、整備方法を理 料を説明できる。 ついて理解できる。 。						
ルーブ	リック								
				理想的な到達レベルの目安 標準的な到達し				未到達レベルの目安	
評価項目1			説明できる。	0	理解している。			理解していない。	
評価項目2			使用方法、	整備方法を理解してい	・ 使用方法、整備 解している。	使用方法、整備方法をある程度理		使用方法、整備方法を理解していない。	
評価項目	13		。 説明できる。		理解している。			理解していない。	
				<u>。</u> 検査について理解して		上降している。 入渠作業・検査についてある程度		入渠作業・検査について理解して	
評価項目4			いる。	(人員に ラグ・と 生所 ひ と	理解している			いない。	
評価項目	15		排水トン数	の計算ができる。	排水トン数の計ている。	排水トン数の計算の意味を理解している。		排水トン数の計算ができない。	
学科の	到達目標	項目との	D関係						
本校 (1)	-a 商船 (2)	-c							
教育方	 法等								
概要		この	整備論(運用)を開 科目では企業の船船 式で授業を行うもの	白に乗船していた教員だ	が航海士としての紅	経験を活かし	ン、船舶該	2備の整備、操船手法等について講	
	 め方・方法				 を交える。				
注意点		・単 ・や	に知識の上で学習す むを得ない状況で欠		内容であることを <i>~</i> し出ること。			I解度を高めるようにする。	
		・こ	の科目は、船舶職員	養成施設の第1種3	<u> 级海技士(航海)</u>	養成施設の打	旨定科目で	ご ある。	
授業の	属性・履	修上の	区分						
☑ アクティブラーニング			□ ICT 利用	□ ICT 利用 □ 遠隔授業対応			□ 実務経験のある教員による授業		
授業計	画								
				授業内容		週ごとの到達目標			
前期	1stQ	1週	各部の名称・構	S部の名称・構造様式		名称・構造様式が理解できる。			
		2週	喫水標の標識 錨・錨鎖	喫水標の標識・喫水の修正 錨・錨鎖		喫水標を読取ることができる。 錨の各名称・錨索の各名称が説明できる。使用方法の 説明ができる。			
		3週	舵と操舵装置 救命設備・消隙			救命設備	舵・操舵装置について名称を理解している。 救命設備・消防設備について物品名称と使用方法を理解している。		
		4週	船体の但方 レ=	船体の保存と手入れ		解している。			
		5週		入渠作業・出渠作業		入渠・ド業等につ	入業・ドライアップ・直ぐに行わなければならない作業等について理解している。 アルフェア・直ぐに行わなければならない作業等について理解している。 アレフェア・ファット		
		€,⊞				船底塗料について			
		6週		船体塗料について					
		7週 8週	定期検査・中間検査・臨時検査等の各 ※期中間試験		台快且		船舶の各種検査について理解している。 後期中間試験		
			後期中間試験						
		9週	操船性能に関する基礎知識				操船性能について理解している。 船舶の索具(繊維索・鋼索)・テークル等について理解		
			船舶用索具 				している。		
		10週	WE 1 1020 1 111	4.54			A4157		
		10週	港内操船と停泊	 白法		岸壁接岸		こついて理解している。	
	2ndQ		港内操船と停泊 航海当直と船舶			岸壁接岸入出港作		こついて理解している。 中の当直勤務・BRMにて理解してい	
	2ndQ	11週	航海当直と船舶			岸壁接岸 入出港作 る。	業・航海・	中の当直勤務・BRMにて理解してい	
	2ndQ	11週 12週 13週	航海当直と船舶 船のトン数	泊通信		岸壁接岸 入出港作 る。 各種トン	業・航海 ^に 数につい ⁻	中の当直勤務・BRMにて理解してい て理解している。	
	2ndQ	11週 12週 13週 14週	航海当直と船舶 船のトン数 排水トン数の記	拍通信		岸壁接岸 入出港作 る。 各種トン 排水トン	業・航海 ^に 数につい ⁻ 数につい ⁻	中の当直勤務・BRMにて理解してい て理解している。 て理解している。	
	2ndQ	11週 12週 13週	航海当直と船舶 船のトン数 排水トン数の記 排水トン数の記	拍通信		岸壁接岸 入出港作 る。 各種トン 排水トン 排水トン	業・航海 ^に 数につい ⁻ 数につい ⁻ 数につい ⁻	中の当直勤務・BRMにて理解してい て理解している。	
≣亚/冊宝Ⅱ		11週 12週 13週 14週 15週	航海当直と船舶 船のトン数 排水トン数の記	拍通信		岸壁接岸 入出港作 る。 各種トン 排水トン	業・航海 ^に 数につい ⁻ 数につい ⁻ 数につい ⁻	中の当直勤務・BRMにて理解してい て理解している。 て理解している。	
評価割		11週 12週 13週 14週 15週 16週	航海当直と船舶 船のトン数 排水トン数の記 排水トン数の記 学年末試験	計算		岸壁接岸 入出港作 る。 各種トン 排水トン 排水トン 学年末試	業・航海 ⁴ 数につい [*] 数につい [*] 数につい [*] 験	中の当直勤務・BRMにて理解してい て理解している。 て理解している。 て計算できる。	
評価割	合 ————————————————————————————————————	11週 12週 13週 14週 15週 16週	航海当直と船舶 船のトン数 排水トン数の記 排水トン数の記 学年末試験 試験	自通信 計算 計算 提出物		岸壁接岸 入出港作 る。 各種トン 排水トン 排水トン 学年末試 授業参加度	業・航海 ⁴ 数につい [*] 数につい [*] 数につい [*] 験	中の当直勤務・BRMにて理解してい て理解している。 て理解している。 て計算できる。	
評価割総合評価	合 ————————————————————————————————————	11週 12週 13週 14週 15週 16週	航海当直と船舶 船のトン数 排水トン数の記 排水トン数の記 学年末試験	計算	:	岸壁接岸 入出港作 る。 各種トン 排水トン 排水トン 学年末試	業・航海 ⁴ 数につい [*] 数につい [*] 数につい [*] 験	中の当直勤務・BRMにて理解してい て理解している。 て理解している。 て計算できる。	